

Local Area News

連携事業継続力強化計画を策定

館林金属工業団地(協)

11月30日、1月18日の2回にわたり、館林市・組合事務所において、連携事業継続力強化計画を策定するため、中小企業診断士・小林広之氏よりアドバイスを受けた。

連携事業継続力強化計画は、中小企業強靱化法に基づき、複数の企業が連携し、防災・減災の事前対策として策定するもの。策定した計画が経済産業大臣より認定されると、税制措置や金融支援、補助金の加算などの支援策を受ける

ことができる。

2回のアドバイスでは、連携事業継続力強化計画策定の手引きに基づき、具体的に想定される自然災害リスクなどについて検討。認定に向け、実効力のある計画書を作り上げた。



計画の認定に向け検討

中央会では「事業継続力強化計画」の策定支援を行っています。計画策定にご関心があれば、中央会までお問い合わせください。

こんにやくの豊作を

祈願

群馬県蒟蒻原料商工業(協)

1月19日、甘楽郡下仁田町・諏訪神社境内において、こんにやく

の豊作や価格向上などを祈願する「こんにやく大黒天祭」を開いた。この「こんにやく大黒天祭」は、本組合や下仁田町商工会など6団体で構成される「奉賛会」が毎年行っており、こんにやくの生産者や加工業者など関係者約80人が参列。祝詞が読み上げられた後、巨大なこんにやく芋が飾られた祭壇に玉串を納め、こんにやくの豊作を祈願した。



こんにやくの豊作を祈願する小山理事長

小山淳旨理事長は、「昨年は夏場の天候不順により、こんにやくの生産量が前年に比べて約2割減少。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり需要により、こんにやく製品の消費量

は若干増加した。今年は、新型コロナウイルスの感染が終息し、こんにやくの生産量、価格ともに好転することを期待したい」と話した。

グルメマップを作製

伊香保温泉旅館(協)

組合青年部が伊香保温泉及び榛名湖周辺の飲食店より情報提供を受け、57の店舗を紹介するマップを作製した。写真付きのオススメ商品とともに、住所や営業時間などを掲載している。



各店舗自慢の味を紹介

LAW

完成したマップは、行政区画が異なるため別々に取り上げられることが多い伊香保と榛名を、同じ紙面上で紹介しているのが特徴。隣接する両地域の周遊に一役買ってくれることを期待している。

伊香保の旅館や観光案内所などに設置しており、現地に赴けば誰でも気軽に手に取れる。また、左記のQRコード(組合ホームページ)から閲覧・ダウンロードすることもできる。



グルメマップ
掲載サイト

インボイス制度の 理解を深める

群馬県食肉事業(協)連合会

1月20日、前橋市・ホテルラシーネ新前橋において、「価格の総額表示とインボイス制度導入に伴う実務対応について」をテーマに研修会を開催した。

講師は、伊勢崎市の小林会計事務所所長・小林英伸氏。



多くの事例を織り交ぜて、分かりやすく説明を行う小林氏

本年10月1日から登録申請受付開始となる「インボイス制度」の概要を、現行制度と比較しながら説明し、請求書・領収書等の記載事項の変更点などを紹介した。

小林氏は、インボイス制度が開始されるにあたり、今からの準備が大切になると説明。特に、

消費税を納税していない免税事業者は、まず、誰に対して商品・サービスを販売しているかを確認。その上で、課税事業者を選択し、適格請求書発行事業者となる場合のメリット・デメリットを比較して、登録申請をするか否かを判断すべきとアドバイスした。

また、本年4月1日から義務付けとなる「消費税総額表示」については、修正残しがないようきちんと対応し、消費者からの信頼を損なわないようにと助言した。

インボイス制度については、国税庁ホームページ「インボイスQ&A」をご覧ください。



国税庁
インボイスQ&A

「教材展示会」を開催

群馬学習塾(協)

1月29日、前橋市・前橋商工会議所会館において「教材展示会」を開催した。

本展示会は、県下の中小学習塾

経営者に対し、最新の教材情報を提供することを目的に毎年この時期に開催している。

会場には、学習塾専門の教材販売会社6社が出展。コロナ禍を反映し、新刊教材の展示に加えて、「空気清浄機」などの展示を行う業者もおり、来場者の興味を引いていた。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大手教材販売会社の展示会が相次いで中止。また、今年は4年に1回行われる中学校の教科書改訂の年に当たることもあり、会場には組合員のほか、組合員外の学習塾経営者も多数訪れ、熱心に教材を手にする姿が見られた。



教材を手にする来場者